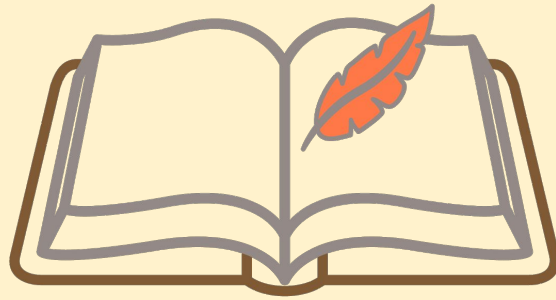




shiori

要旨

皆さんは仲間や家族との旅行写真を見ながら「もう一度一緒に旅行に行きたいな」と思った経験はありませんか？そんな風にもう一度旅行したいなと思っても、なかなかきっかけがないのかもしれません。さらにきっかけがないことを理由に旧友などとの再会が億劫になっている人もいるでしょう。そこで我々はリアルに繋がるきっかけを創造し、思い出を探しに旅に出るスマホアプリshioriを提案します。

思い出を探しに旅に出る

もう一度、あの時の気持ちを思い出してみませんか？

0.一度だけつかえるソフトウェア

「一度」みなさんはこの言葉を聞いて、どんな印象を受けますか？「一度言ったことは取り返せない」「一度飲めば良くなる薬」こういった文章からも分かるように、「一度」と聞くと、期間がとても短い単発的なイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。しかし、「一度」の意味には時間的な制限がありません。始まりから終わりまでの一まとまりを繰り返さないことです。そこで私達は「一度」という言葉の「出来事の一まとまり」という点に着目しました。

本提案では、何かのイベントを作るという作業から始めて、そのイベントを自らで終了させるソフトウェアを「一度だけつかえるソフトウェア」として提案します。

1.背景

一箇所に定住することは少なくなり、旧友や家族と離れて暮らすことが増加しています[1]。しかし、SNSやテクノロジーの発達のおかげで新しい繋がりを作ることやSNSを通して連絡を取り、オンラインで繋がりを保つことができるようになりました。一方、実際に人と会う機会というのは減少しています[2]。そのことから、実際に会う「きっかけ」をつくることが求められています。我々は旧友と再会し会話をする「きっかけ」の一つとして**タイムカプセルを掘り起こすというイベントに注目**しました。

日本では、記念を残すためにタイムカプセルを埋める慣習があります。このタイムカプセルを埋めて掘り起こすという行為は、一緒に埋めた仲間が集まり思い出を語り合うきっかけを生み出します。一方で、タイムカプセルを実際に埋めるには、埋める場所の選定や許可などが必要です。そのことからタイムカプセルを埋めることは多くの労力が伴います。加えて、土地開発などにより地形が変わってしまい、掘り起こすことが難しくなる可能性も考えられます。そこで、我々は、タイムカプセルを埋め、掘り起こすという体験をICTで実現しました。

2.目的

我々は、**旧友やなかなか会えない家族との再会のきっかけづくりを目的**とします。そこで、タイムカプセルを通して過去をめぐる経験をコンセプトにアプリケーション shiori を提案します。

shioriで埋められるコンテンツは旅行を通して得た思い出です。また現実のタイムカプセル同様に、**shioriで埋めたコンテンツを掘り起こすのは人生に一度だけ**です。

思い出を探しに旅に出る

あなた達だけの物語を、我々の一度だけつかえるソフトウェアが提供します

3. shioriの提案

shioriでは、タイムカプセルでの、「作る」、「掘り起こす」、「思い出す」という3つの経験を ICT で実現します。

shioriは、旅行での思い出コンテンツに鍵を掛けることで、タイムカプセルを「作る」ことができます。

任意の年数後に通知が届きます。この通知を受けて、もう一度その土地を訪れることでこのタイムカプセルを「掘り起こす」ことができます。

なお、1ヶ所の訪問ですべての思い出コンテンツが見られるわけではありません。思い出の土地を巡り、1つずつ思い出を紐解いていきましょう。shioriは思い出をアップデートさせます。過去の思い出に浸りながらその地に足を踏み入れることで、新たな発見や自分の成長を感じつつ、あなた達だけの物語を「思い出す」経験をしてください。

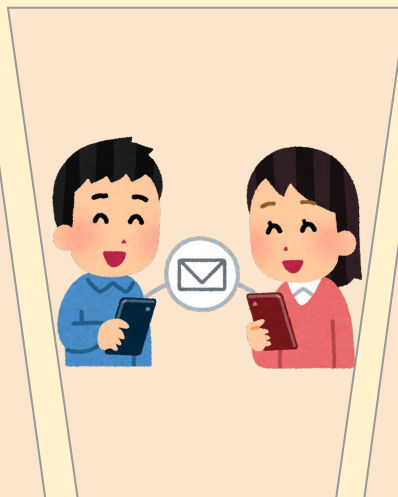
4. shioriの由来

shioriの名前は、ユーザーの人生の中の目印になるアプリという思いを込めて、本などを読むときにどこまで読んだかを目印にする栞から名付けました。

5. 使用の流れ



1. 思い出コンテンツを集めて鍵をかけ、タイムカプセルを作ります。



2. 数年後、作成したタイムカプセルを開ける時がくると通知が届きます。



3. タイムカプセルの鍵を外すために、もう一度同じ旅行先に行きます。



4. 少しずつ紐解かれる思い出が、思い出や、大切な人と過ごす時間を特別なものにしてくれます。

6. 主要機能

shioriが提供する機能を紹介します。また、shioriの機能を簡単に説明した説明動画を付属します。

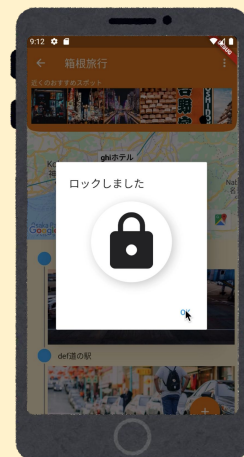
<https://youtu.be/WOTgB6qXb6A>



思い出カプセル機能

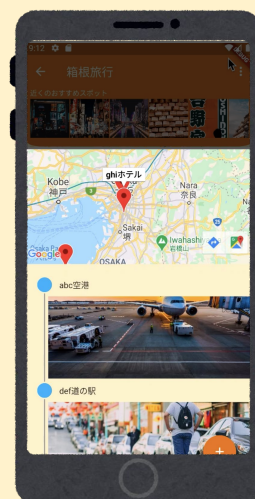
shioriではまず、タイムカプセルを作ります。

タイムカプセルは思い出コンテンツ(写真、動画、コメント)をもとに作成します。そして最後にロックをかけます。そのロックを解く鍵は位置情報です。1度鍵をかけるのと次に開けることができるのは再びその地を訪れた時となります。



思い出巡り機能

shioriの醍醐味は思い出巡りです。タイムカプセルの鍵を求めて思い出の地を巡ります。思い出巡りをすることで、当時撮った写真や動画、テキストをふたたび見ることが出来ます。ただしその思い出巡りは人生で一度だけ。一度開いたタイムカプセルに再び鍵をすることは出来ません。



シェア機能

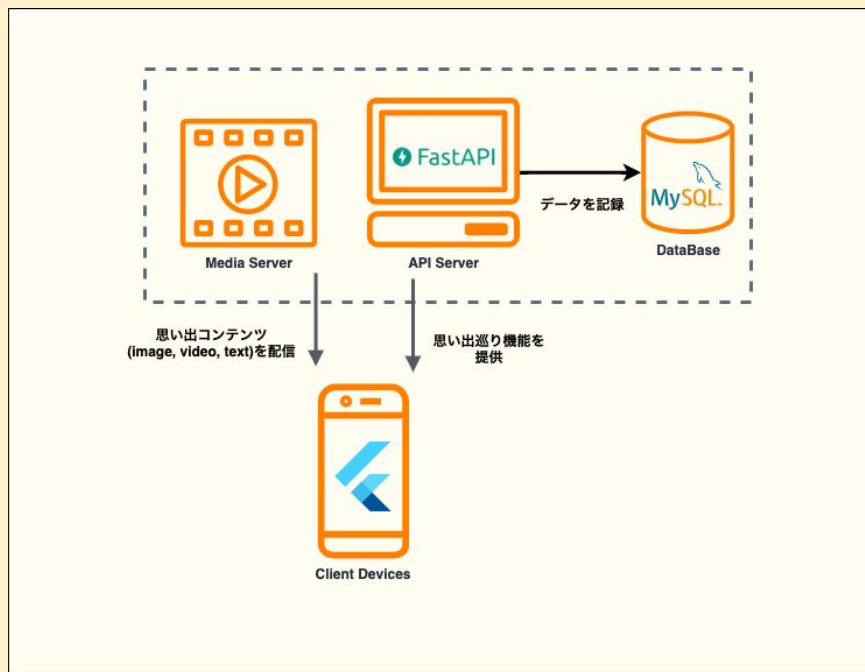
shioriにあるタイムカプセルを見られるのは作った人だけではありません。友達や家族に「この場所よかったよ、ぜひ行ってみて。」と、自分のタイムカプセルを共有することも可能です。

もちろんタイムカプセルを開けるためにはその場所に行く必要があります。

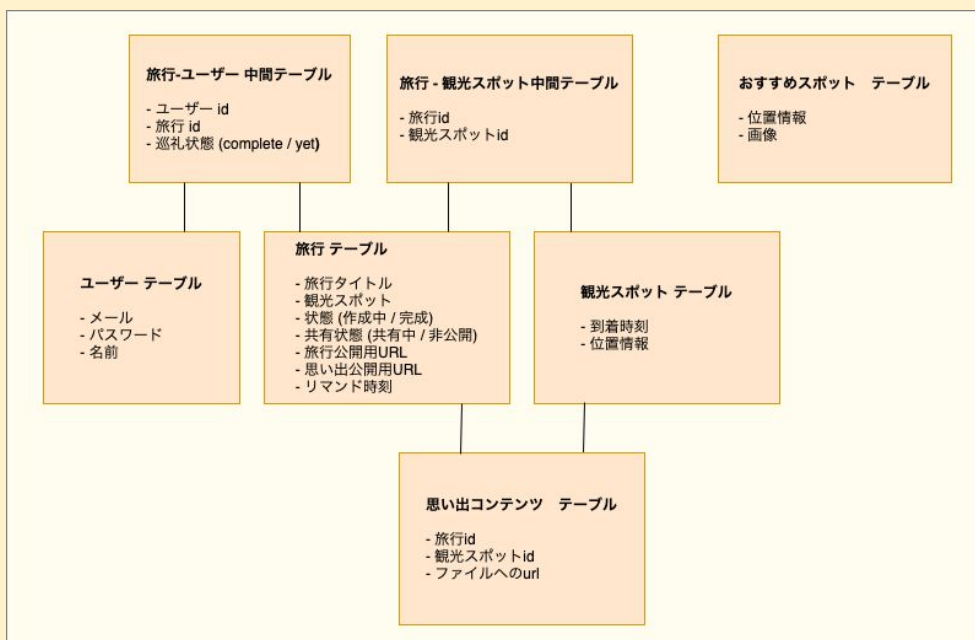
友達や家族のタイムカプセルを通してその土地を巡りながら、自分たちの新しいタイムカプセルを作っていくことも可能です。



7.システム構成



shioriのシステムは非常にシンプルです。API Serverでコアとなる機能を提供し、Client DevicesではAPIからの情報をもとに画面を表示します。APIからはDatabaseに記録されたデータを取得でき、画像等の思い出となるコンテンツは別経路からダウンロードします。



Databaseにはユーザー、旅行、観光スポット、思い出コンテンツ、おすすめスポットに関する情報が記録されています。

旅行とユーザ、旅行と観光スポットの関係性は中間テーブルを使って表現しています。

8. ユースケースの例

リピーターの獲得

一般的に、観光地では観光客が何度も訪れてもらえるように様々な策を取っています[3]。一方で、観光客が1年以内にその土地を再訪しなければリピーターになる確率は大きく下がってしまいます[3]。shioriはもう一度思い出の地を訪れるためのアプリです。そのことから、今までとは違った観点で観光地はリピーターを獲得することができます。

高齢者の心理療法

高齢者の心理療法に「回想法」というものがあります。認知症予防のために写真を見ながら昔を思い出すという心理療法です。現代のデジタルネイティブ世代が、おじいちゃんやおばあちゃんになった時、その孫や子供、友達など思い出の地と一緒に巡る、新しい世代の心理療法という使い方もできるでしょう。

9. 今後の展開

観光地と有名人の連携

このアプリの醍醐味の一つである「シェア機能」を利用すれば、有名人はshioriでのタイムカプセルを多くの人と共有することができます。有名人と同じ観光ルートを辿ることができれば、ファンにとっては旅行が特別な体験になります。

観光地とアニメーションの連携

「シェア機能」を利用して、観光地とアニメーションが連携することで、「観光地にアニメのキャラクターがいる写真」のような「ご当地写真」を得ることができます。アニメキャラクターと旅行を一緒に楽しめるなど、観光地は新しいPRができます。

10. まとめ

バーチャルで気軽に繋がれる今だからこそ、私達は実際に会う密な交友関係を大切にしたいと考えています。そして、そのためのきっかけづくりとしてshioriを提案します。shioriのベースにあるのはタイムカプセルを通して過去を巡る一度だけの経験です。shioriのタイムカプセルには旅行での思い出コンテンツを詰め込みます。そして、もう一度同じ人とその旅先を訪れてタイムカプセルを開けていくことが、あなたたちだけの思い出をアップデートさせ、密な交友関係を築くことができるのではないのでしょうか。このアプリが、家族や旧友の交わるきっかけになることを願っています。

未来のためにshioriをつかいませんか

出典:

[1] 国立社会保障・人口問題研究所 第五回人口移動調査

[2] アサヒホールディンググループアンケート 昔の仲間や同級生と会っていますか？

[3] じゃらんリピーター追跡調査レポート